

自由が丘一丁目29番地区市街地再開発事業

4. まちづくりの主な経緯・予定

- 2017年 5月 : 自由が丘1-29地区再開発準備組合設立
- 2020年 10月 : 「自由が丘一丁目29番地区第一種市街地再開発事業」の都市計画決定
- 2021年 7月 : 市街地再開発組合設立認可申請
- 2022年 1月 : 市街地再開発組合設立認可・再開発組合設立

(予定スケジュール)

- 2022年度 : 権利変換計画認可 解体工事着工
- 2023年度 : 建築工事着工
- 2026年度 : 建築工事竣工・開業

5. 市街地再開発事業の整備概要

名称		自由が丘一丁目29番地区第一種市街地再開発事業				
施行区域面積		約0.5ha				
公共施設の 配置及び規模	道路	種別	名称	規模		備考
		幹線道路	補助127号線 (カトリア通り)	幅員約3m[15m]、延長約80m		既設(再整備) []内は区域外を含めた都市計画道路幅員
			補助46号線 (すずかけ通り)	幅員約10m[20m]、延長約80m		拡幅 []内は区域外を含めた都市計画道路幅員
		区画道路	区道H100号線 (女神通り)	幅員約3m[約6m]、延長約80m		既設(再整備) []内は区域外を含めた幅員
駅前広場	広場1 (駅前広場)	約30㎡[約2,060㎡]		既設(再整備) []内は区域外を含めた面積		
建築物の整備	建築面積	延べ面積	敷地面積に対する [容積対象面積]	敷地面積に対する 容積対象面積の割合	建築物の 高さの限度	主要用途
		約3,400㎡	約43,200㎡ [約33,500㎡]	約9/10	約85/10	60m
建築敷地の整備	建築敷地面積	整備計画				
		約3,950㎡	・補助127号線(カトリア通り)及び区道H100号線(女神通り)に沿って歩行者通路及びにぎわい環境空間を整備し、補助46号線(すずかけ通り)沿いに街角広場(2か所)を整備する。また、建築物の屋内に貫通路を整備し、地下に地域共同荷さばき場を整備する。			
参考		地区計画区域内				

6. 建築計画概要

建築敷地面積	建築面積	延べ面積	建ぺい率	容積率
約3,939㎡	約3,477㎡	約45,880㎡	約88%	約850%

- ①施設内容 : 商業機能、文化・交流機能、産業支援機能、居住機能を導入します。
- ②建物構造 : 制振構造を採用し耐震性に優れた建物とします。
- ③防災対策 : 施設用防災備蓄倉庫及び自家発電設備を整備します。
- ④景観等 : 自由が丘の顔となる個性的でにぎわいのある景観形成を図るため、低層階のにぎわいの創出や、駅からの見え方に配慮した形態、意匠とします。
また、歩行者空間への街路樹等の植栽により、身近なみどりがある景観を形成します。
- ⑤歩行者・車両の動線 : 沿道の土地利用更新に伴う道路整備(本計画は先行整備に該当)、区道拡幅及び歩車分離道路を整備します。